

広瀬団地再生ビジョンワークショップ かわら版

第2回 「再生テーマの具体的な展開例を考える」

広瀬団地再生ビジョン策定に向けたワークショップの第2回が7月28日（日）に開催されました。

第2回では地域住民・事業者・団地以外に暮らす人など様々な視点から、広瀬団地をどんな「まち」にしたいかを考え、その「まち」を実現するために必要なモノ（ハード）やコト（ソフト）を考えました。また、「必要な」という視点のほかに、自分たちが広瀬団地でやりたいという想いを大切にアイデアを出し合いました。

～当日の流れ～

- 1 理想の「まち」を考える
- 2 「まち」をグルーピング
- 3 理想の「まち」を実現するために必要なモノ・コトを考える

参加者数：30名



●グループワークで出た意見（一部抜粋）

理想の「まち」

いくつになっても住み続けたいまち

緑を中心としたまち

駅や地域内でアクセスしやすいまち

個性的なまち

福祉・子ども・多世代

きれいで環境のよい遊びたくなるまち

人が感じられるまち

広瀬繁華街

遊べるまち

色々な世代が交流するまち

モノ

移動スーパー

安心して歩ける歩道

神社の緑

集まって食事ができる場所

芝生公園

1日単位のチャレンジショップ

団地民泊

住民のシェア本棚

個々の特徴のあるお店

シェアカー

イベントスペース

コト

緑日カフェ

家賃がお手頃

相乗りシステム

地域でルールを決められる

広瀬団地公式 SNS

団地の空き部屋を活用するシステム

地域の人で団地をきれいにする体制

川、緑のイベント

キャンプ（広場などで）

広瀬フェス

水遊びがしたい！